

# 令和4年度 清水中学校 自己評価書（1学期）

令和4年8月8日

学校教育目標	心豊かで創造性に富み 自ら学び続け 実践力のある たくましい生徒の育成
目指す学校像	○静と動のけじめのある学校 ○確かな学力、体力がつく学校 ○歴史と伝統を生かし、地域と共にある学校 ○美しい環境で風格を備えた学校
目指す生徒像	○明るく元気で、共に学び合う心豊かな生徒 ○意欲をもって学習や健康づくりに取り組む生徒 ○地域の歴史や文化に学び、品性を整えた生徒 ○あるべき姿を求め、主体的に実践する生徒
目指す教師像	○使命感に燃え、自己研鑽に努める信頼される教職員○常に指導力向上を目指し、確かな力を育てる教職員 ○地域と共にある学校の一員として共通実践に努める教職員○品格を備え、規範を遵守する信頼される教職員

## 1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価事項	職員	改善策
		達成状況	
確かな学力	学習目標とまとめの整合性のある授業を行い、問題解決的な授業に努めている。	B	講義形式の授業から生徒主体の授業をめざし、教員の ICT の活用や、生徒全員に配備されたタブレットの効果的活用について研修等を行いながら実践を進めていく。
	Shimizu 班活動学び合い・助け合い活動を教科指導等にも積極的に取り入れ行っている。	B	主体的・協同的な学び合いを充実させるため、復習テスト等を定期的実施し、基礎的・基本的な事象についての理解を深めていく。
	家庭学習の時間確保と確実な実践に向けて、効果的な指導と見届けに努めている。	C	家庭学習 90 分以上の取組は、タブレットの活用を積極的に取り入れるとともに、家庭での SNS やインターネット等の利用について考える機会の設定も行う
生徒指導	あいさつや言葉づかい、服装など、時と場に応じた「礼を正す」指導に努めている。	B	生徒は落ち着いて学校生活を送っている。あいさつについては地域からもよい評価をいただいている。地域や保護者の声も踏まえながら、今後も指導を継続していく。
	清掃や緑化、室内の整理・整頓など「場を清める」指導に努めている。	B	校内の環境美化への取組を更に充実させるとともに新型コロナウイルス感染症予防について、教職員、生徒、保護者等と一丸となって取り組むようにする。
	不登校（傾向）の減少といじめ撲滅に向けて、組織的な取組に努めている。	B	担任・副担任を中心に、対応に当たっている。新規不登校生徒が増加しないように、情報共有するとともに、SC等を活用するなど、教育相談体制の充実を努める。
	学校行事や生徒会活動の活性化に向けて、活動の充実と生徒の主体的な活動の推進に努めている。	B	2学期は大きな行事があるため、学級経営・生徒会活動（班活動と一人一役、ボランティア活動の推進）を充実させ、より自己有用感を高められるように指導を工夫していきたい。
指導 進路	目的意識を高める進路学習を学年の発達段階に応じて系統的・継続的に行っている。	B	保護者への進路情報提供について評価が低かったこともあるので、学校での取組を保護者へ発信するとともに、継続して3年間を見据えた効果的な進路指導・キャリア教育を計画的に行っていきたい。
体力 保健・安全・	交通事故防止や防火・防災、不審者対策等について指導の充実に努めている。	B	生徒たちがルールやマナーを守り、比較的に安全に1学期を過ごすことができた。避難訓練も、適切に行うことができた。今後も継続して、安全教育を推進していく。
	部活動では保護者の協力を得て「心・技・体」のバランスのとれた生徒の育成をめざして取り組んでいる。	B	部活動については大きな変革期を迎えている。職員と保護者が共通認識を持ちながら連携して、適正な部活動の奨励と充実が図られるようにする。
地域連携	家庭・地域・関係機関との連携及び保護者等外部に対する説明責任を十分に果たしている。	B	P T A活動については大きな変革を行っている。本年度は職員・保護者とも手探りで活動を行っているが、引き続き P T A サポーターとの連携を深めながら、これまでの活動が停滞しないように工夫・改善に努めたい。

## 2 次学期に向けての取組

- 教科指導において、全国学力学習状況調査の結果を分析し、校内で共通理解を図り、本校生徒の学力向上に努めていく。
- 自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して話し合う活動を充実できるよう、「Shimizu 班活動」を更に充実させ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善をすすめたい。
- I C T 機器を利用した学習活動の充実が図れるよう、職員の研修を充実させたい。